



広報

おおだ

2024
4



期待と喜びにあふれて—



多くの人が山陰道開通記念イベントに参加しました
開通記事24ページ



こうほう 広報おおだ もくじ 目次
Oda Newsletter - Table of contents
Boletim Informativo de Oda - Índice



市ホームページ



Facebook



LINE



YouTube



令和6年度 施政方針



施政方針を表明する市長

人口減少時代を乗り越え おおだの誇りを未来に繋げる

2月28日から3月19日にかけて、令和6年第2回大田市議会定例会が開催されました。

初日の冒頭で、楫野弘和市長が施政方針を表明。こちらでは一部を抜粋し、紹介します。

基本姿勢方針 —— 将来像の実現に向けた基本的な姿勢

「共創」

こどもから高齢者まで、年齢、性別、職業、国籍などを問わず、さまざまな人が一緒に楽しく夢を語り合いながらアイデアを創り、“おおだ”に関わるすべての人たちが、一緒に汗をかきながら、ひとつずつ形にしていきます

新年度の市政運営につきまして、私の所信を申し上げ、市民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

大田市長への二期目の就任にあたり、「今後10年を見据えた市政運営を心掛ける」とともに着実に実施していく」ことを目標に掲げました。以来2年4か月が経過いたしました。

この間、山陰道の全線開通に向けた活動、世界遺産・国立公園・日本遺産など大田の魅力を活用した観光振興、「大あなご」などの食による経済活性化、JR大田市駅周辺のまちづくりと大田市駅前周辺東側土地区画整理事業の着実な推進、行政のデジタル化や公共施設の適正化を含む行政改革などに取り組みとともに、老朽化施設の改修を検討する中で、新庁舎の整備、子育てにかかる総合支援拠点施設整備、小・中学校の再編などにも着手することといたしました。

物価高騰や賃金の上昇が続く状況の中で、多額の資金と時間を必要とするこれらの事業に取り組むことは、引き続き厳しい財政運営を迫られることとなりますが、いずれの事業も、大田市の未来にとって必要不可欠な事業であります。

残る任期の1年8か月において、これまでに着手した様々な課題に一定の目途をつけるよう、全力で取り組んでまいりますので、市民の皆さん、市議

会議員の皆さんのご理解ご協力をお願い申し上げます。

3月9日には山陰道「大田・静間道路」「静間・仁摩道路」が開通いたしました。本市では5年ぶりとなる山陰道の開通であり、「命の道」として、緊急時の移動時間の短縮、安全性の向上はもちろんのこと、観光や産業面における人の流れや物流の活発化など、様々な効果をもたらすものと期待をしております。残る「福光・浅利道路」についても、順調に事業が進捗しております。引き続き、一日も早い開通と、山陰道の早期全線開通に向けて、関係機関に強く要望してまいります。

新年度には温泉津地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから20周年を迎えます。この節目の年を、貴重な文化資源の保存と活用について、地元の関係者とともに考える機会とし、これを契機に、3年後の令和9年に迎える「世界遺産登録20周年」、「石見銀山発見500年」に向け、実行委員会を立ち上げて、具体的な準備を進めてまいります。

本市における人口減少は、国の減少率を上回る勢いで進行しており、とりわけ令和元年に201人であった出生数が、昨年は159人にまで減少するなど、深刻な状況にあります。

子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”

基本方針 ――将来像を実現するための施策の柱

第1の柱 産業づくり ～多様で活力ある「産業」をつくる
産業振興を市政発展の重要課題と位置づけ、積極的に取り組む

第2の柱 豊かな心づくり ～ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる
豊かな自然や歴史・文化など、多くの地域資源に囲まれたふるさとに市民の皆さんが誇りと愛着を持てるよう、地域と連携し、学校教育・社会教育を推進

第3の柱 暮らしづくり ～だれもが住みよい「暮らし」をつくる
多様化するニーズや課題にきめ細かく対応できるよう安全で安心な暮らしづくりに努める

第4の柱 都市基盤づくり ～くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる
道路、下水道などのインフラ整備や市民の安全・安心のための環境整備を推進

第5の柱 自然・生活環境づくり ～人と自然が共生した「自然・生活環境」をつくる
多様で豊かな自然環境と市民の住みよい生活環境との共生を目指し、各種事業を推進

第6の柱 持続可能なまちづくり ～協働・共創により「持続可能なまち」をつくる
あらゆる取り組みについて「共創」によるまちづくりを基本姿勢とし、積極的に推進

市政運営に大きな影響を及ぼす人口減少への対策を本市の最重要課題と捉え、令和5年度には、「総合的な人口減少対策事業」に着手いたしました。様々な統計データの分析をおこない、市民アンケートや子育て支援団体などにヒアリングを実施するとともに、各種関係機関や子育て世代の方々で構成する調査検討委員会において協議を重ねてまいりました。

今後は調査分析の結果を踏まえて、できることから取り組むこととし、新たに「出合いの場の創出」に向けた取り組みを進めるとともに、各地区において説明会や意見交換の場を設けることとしています。

新庁舎の整備につきましては、市議会議員や市民の皆さんからいただいた様々なご意見を踏まえ、令和5年度中には、機能や概算工事費などを盛り込んだ基本計画を策定いたします。新年度からは、施設の構造やレイアウト、備えるべき機能などをまとめ、基本設計をおこなってまいります。

隣接する「子育てにかかる総合支援拠点施設」につきましても、令和5年度中に策定する基本計画に基づき、基本設計をおこなってまいります。子育てに関する施設を複合化することにより、各機能を有機的に連携し、効率的な運営体制の構築や、相談体制の強化などを図ることで、きめ細やかな子育て

支援や健康づくりの拠点となるよう、検討を進めてまいります。

学校の再編につきましては、令和5年9月末に3つの再編素案をお示し、「大田市学校のあり方に関する計画等検討委員会」をはじめ、11月に市民会館で開催した説明会や、地域・保護者の方々への説明会・意見交換会を通じて、広く話し合いを重ねてきました。令和5年度中には再編案をお示しすることとしておりましたが、より深い検討が必要であることから、新年度も検討委員会を継続し、再編案の作成を進めることといたしました。

子どもたちにとって、よりよい教育環境の確保につながるよう、将来の児童・生徒数の推移や校舎・施設の状況などを見据えながら、適正な小・中学校の配置に向けた再編・統合を進めてまいります。

公共施設の補修・修繕対策につきましては、令和5年3月に大森町で発生した転落死亡事故を受け、新たに立ち上げた「大田市公共施設改修及び修繕対策優先度判定委員会」において技術的・専門的知見による優先度判定をおこない、施設の状態や利用状況に応じて、必要な予算措置と安全対策を実施してまいります。

※ 全文は、市ホームページに掲載しています。

令和6年度 当初予算

一般会計 総額 241億5千万円

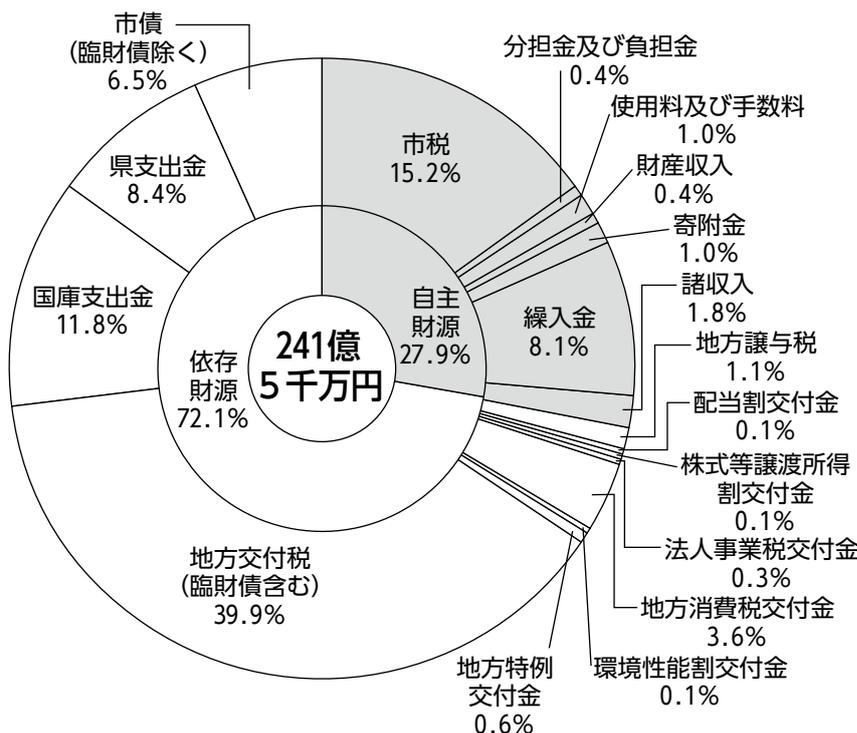
一般会計の当初予算の総額は、前年度に比べ16億2千万円（7.2%）増の241億5千万円です

一般会計 歳入

市税が減少、地方交付税が増加

自主財源の根幹をなす市税は、定額減税の実施などに伴い、前年度に比べ、3,550万円（1.0%）減の36億8,110万円。

依存財源の多くを占める地方交付税（臨時財政対策債を含む）は、人事院勧告に伴う人件費の増加などが考慮され、前年度に比べ、2億4,098万円（2.6%）増の96億3,638万円となっています。

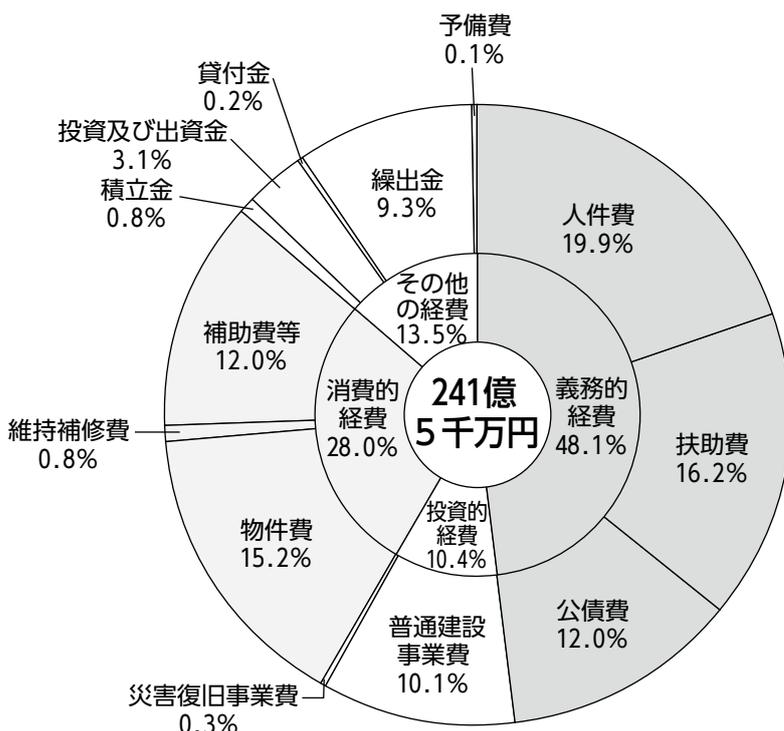


一般会計 歳出

特徴的な取り組み

出会いの場創出事業、世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年記念事業、「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」受入環境整備事業、大田葬斎場長寿命化改修事業、大田小学校整備事業などの事業を計上しています。

公共施設の改修・修繕対策を計画的に進めるとともに、教育の魅力化や地域の脱炭素化、協働・共創のまちづくりや大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保についても、継続して取り組んでいきます。



人口減少時代を乗り越え おおだの誇りを未来へ繋げるための予算

新年度の主な事業の内容

第2次大田市総合計画に掲げる「6つの柱」ごとに紹介します

◆は新規事業

①産業づくり

～多様で活力ある「産業」をつくる

- ◇地域資源を活用した商品開発、
県外への販路開拓 838万円
- ◆「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」
トワイライト エクスプレス みずかぜ
の受入環境整備 450万円
- ◆畜産経営体の施設整備支援 2億3,500万円
- ◇農業生産基盤の整備・保全、
生活環境の整備 1億9,631万円
- ◇循環型林業の推進 5,599万円
- ◆和江漁港の整備促進に向けた取り組み 330万円
- ◇サテライトオフィス利用企業の取り組み支援 3,000万円

②豊かな心づくり

～ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる

- ◇保幼小中高における各種教育魅力化 3,015万円
- ◇小中学校における情報教育の推進 2,931万円
- ◆学校再編に向けた取り組み 87万円
- ◆大田小学校新校舎の整備検討 8,000万円
- ◆学校給食の原材料費高騰対策 1,178万円
- ◆石見銀山世界遺産登録20周年
石見銀山発見500年に向けた取り組み 664万円
- ◆温泉津重要伝統的建造物群保存地区
選定20周年記念事業の実施 404万円

③暮らしづくり

～だれもが住みよい「暮らし」をつくる

- ◆独身男女の出会いの場の創出 360万円
- ◆保育施設給食の原材料費高騰対策 579万円
- ◇こども家庭総合支援拠点施設の整備検討 5,000万円
- ◇不妊・不育症治療費の助成 400万円
- ◇高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 256万円
- ◇地域医療の確保に向けた取り組み 1,249万円
- ◇隣保館の移転新築整備 2,930万円



④都市基盤づくり

～くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる

- ◆都市計画マスタープランの策定 800万円
- ◇大田市駅周辺地区の環境整備 2億8,250万円
- ◇危険な空家等の除却 324万円
- ◇高齢者講習施設の新規整備 2,600万円
- ◆消防救急デジタル無線の更新整備 1,243万円
- ◇消防団装備の充実強化 297万円

⑤自然・生活環境づくり

～人と自然が共生した

「自然・生活環境」をつくる

- ◇再生可能エネルギーの導入促進 312万円
- ◇公共施設照明のLED化 3億625万円

⑥持続可能なまちづくり

～協働・共創により「持続可能なまち」をつくる

- ◇特定地域づくり事業協同組合への支援 1,569万円
- ◇持続可能なまちづくりに向けた
地域の取り組み支援 5,902万円
- ◆自治体DXの推進に向けた取り組み 285万円
- ◇新大田まちづくりセンターなどの整備 2億3,000万円
- ◇市役所本庁舎の整備検討 3,550万円
- ◇仁摩老人福祉センターびしゃもんの解体 7,279万円
- ◆大田葬斎場の長寿命化改修 4,840万円

財政局課 (☎0854 - 83 - 8011)

令和5年度 総合的な人口減少対策事業 実施状況

固政策企画課 (☎0854 - 83 - 8003)

本市では加速する人口減少に対し、定住支援、多様な働き場の確保、結婚相談支援、子育て支援、教育環境の整備など、様々な取り組みを進めてきましたが、令和元年に201人であった出生数が、昨年は159人にまで減少するなど、状況は深刻化しています。そのため、令和5年度に「総合的な人口減少対策」に着手し、改めて現状の調査・分析に取り組みました。

様々な統計データの分析をはじめ、アンケート調査や各団体へのヒアリングをおこない、調査結果をもとに、関係機関や子育て世代の方々に構成する「調査検討委員会」において協議を重ねてきました。

今回は、これまで進めてきた調査の一部を報告します。

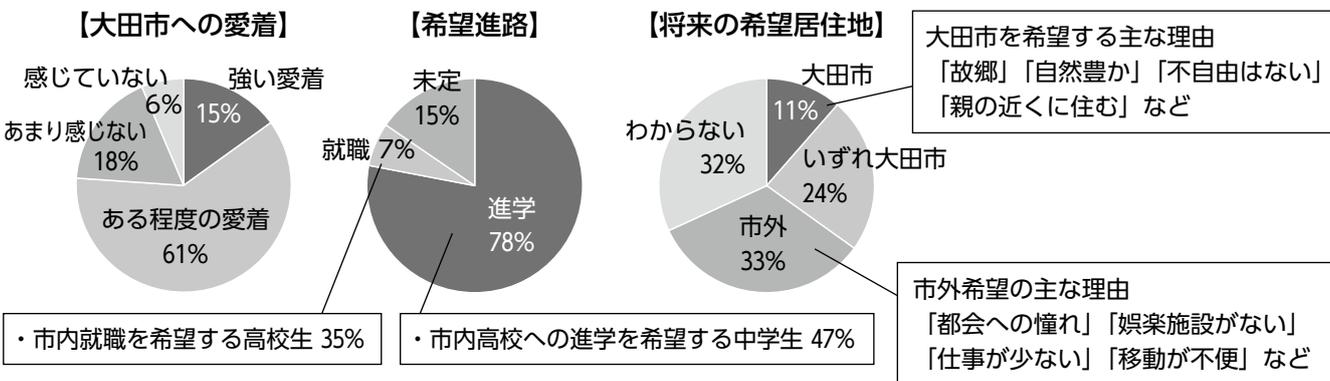
市ホームページ
《アンケート調査結果》



○市民アンケート調査結果の概要（市内在住の18～45歳のかたを対象）

移住	<ul style="list-style-type: none">・回答者の約半数がU I ターン者、転入元は県内・近隣県が多数・U I ターン理由は、「出身地」「結婚・出産」「仕事」が多数
結婚	<ul style="list-style-type: none">・子を持たない単身者の6割が積極的な結婚意志・結婚への不安「経済面」「子育て責任」「自分の生活リズム」「相手親族との関係」
子育て	<ul style="list-style-type: none">・「子を望む」割合は約半数、希望・理想は「2～3人」、平均人数は「1～2名」・悩みは「遊べる場所」「同年代の子との交流機会」「自分の時間の確保」・必要なことは「就学費の軽減」「教育環境の充実」「勉強や部活以外の体験活動の充実」
その他意見	<ul style="list-style-type: none">・市の満足度では「自然」「人間関係」が高評価、「社会資本・都市機能」関連は低評価・人口減少の要因は「仕事・給与」「都市機能」「公共交通」との回答が多数・働きながらの妊娠、出産のハードルが高い（仕事と子育ての両立が困難）・適切な出会いには、職場や自宅以外の第三の場「サードプレイス」が必要 など

○中・高生アンケート調査結果の概要（市内の中学、高校に在籍の2年生を対象）

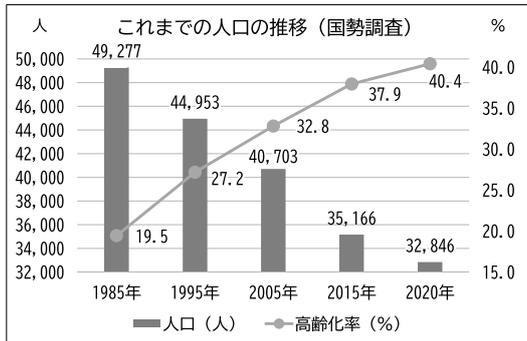


【その他意見】

- ・娯楽施設、商業施設を増やしてほしい
- ・家族や働き方など、多様な生き方が認められる環境を整えてほしい
- ・人の優しさや雰囲気の良いさをわかりやすく伝える必要がある など

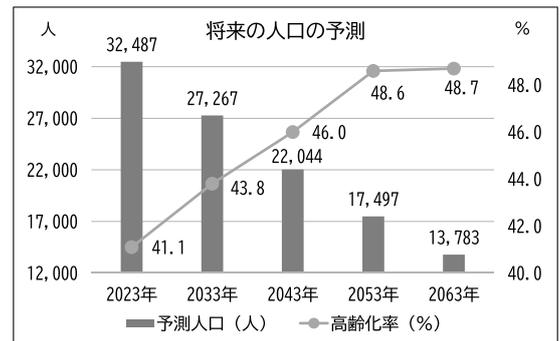
《その他調査・分析の結果（概要）》

○35年後に人口が半減！（国勢調査ベースの人口予測）



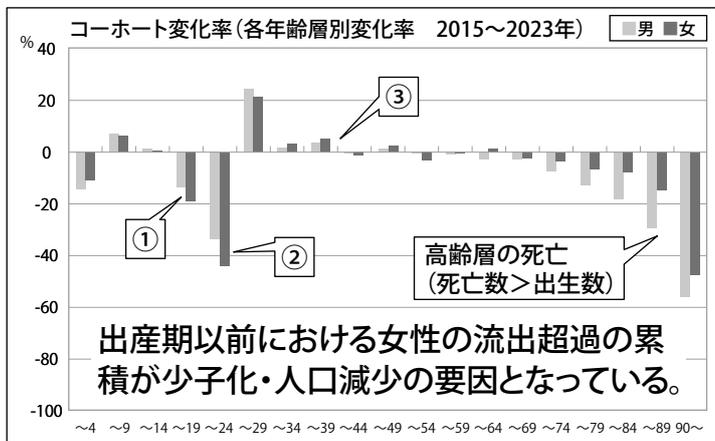
▲近年は10年間で4,000～5,000人ずつ減少しています

このままの推移が続けば



▲35年後に人口が半減します
（小・中学生の人数は約20年で半減します）

○人口減少の背景は？（大田市の人口動態の特徴）



◀2015年と2020年の国勢調査をもとに年齢層別の人口変化率を表したグラフ

特徴① 10代後半～20代後半の流出超過
（進学・就職による流出）

特徴② 若年女性の流出率が高い

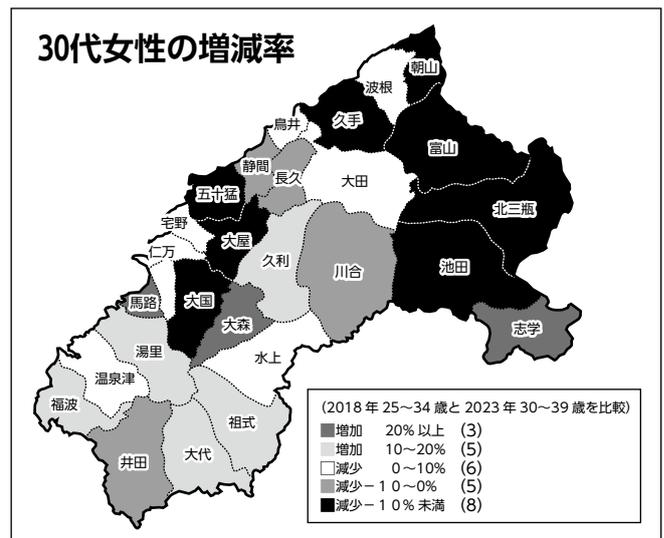
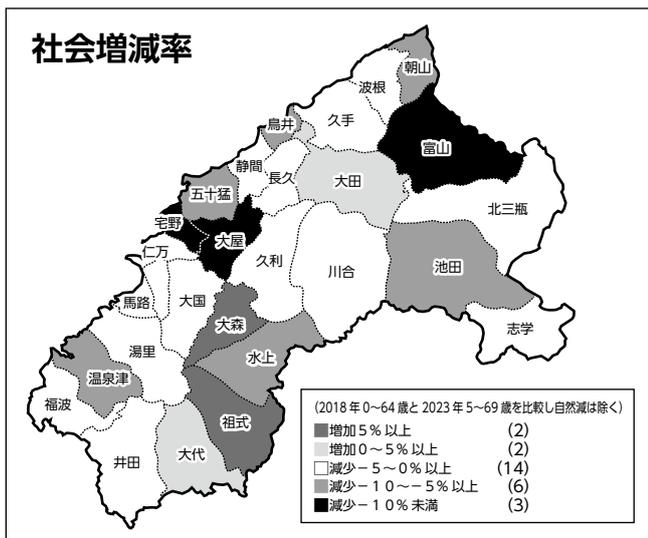
特徴③ 20代後半以降のUターンが少ない

（若年層の流出をUターンで補えていない）

※コーホート変化率

ある期間の人口動態を同世代の集団で捉え、世代ごとの増減変化割合を表したもの

○地区ごとに異なる人口動態！（地区の実態に応じた対策が必要）



▲人口の減少率や転入・転出による社会増減などの動態は地区により差があるため、各地区の資源や活動状況などを踏まえた地区ごとの対策が望まれます

3/30
(土)

「大田市未来展望フォーラム」

会場 あすてらすホール
開始 13:30～

人口減少の現状や課題の共有を図るため、調査・分析の結果を報告します。併せて調査検討委員会からの提案、パネルディスカッションをおこないます。

利用者の視点に立った市役所を目指して

「窓口利用体験調査」を実施しました

圖情報企画課 (☎0854 - 83 - 8034)



窓口業務の改善には、利用者の視点に立った業務フロー（届け出による各種手続きの流れ）全体を見直し、課題の洗い出しをおこなうことが重要となります。窓口サービスの利用者の行動をデモンストレーションすることで、窓口の手続きを検証し、リアルな課題や改善点を見つけ、アナログ・デジタルを含めた窓口改善を検討するための調査です。

■ ライフイベントに沿った調査をおこないました ……………

1月12日に、市役所の若手職員がそれぞれ「大田市に引っ越しした」、「家族が亡くなった」、「子どもが生まれた」ことで手続きに来庁したお客様役となり、調査を実施。正確な調査となるよう、平日の開庁時間中に実施し、窓口職員がいつもどおり窓口手続きの対応をおこないました。

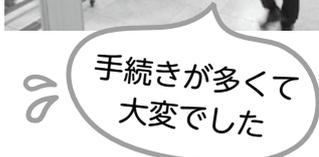
1



2



4



3



お客様役となり、窓口体験調査をおこなう職員

デジタル庁の支援制度を活用

「窓口BPRアドバイザー派遣事業」*
を活用し、東京都大田区職員の遠藤
アドバイザーに取り組みを支援いた
だきました。

*窓口BPRアドバイザー派遣事業
窓口改善に取り組む市町村へアドバイザーと
なる自治体職員を派遣するデジタル庁の事業
です。



遠藤アドバイザーと一緒に課題をみんなで考えます

体験者の声

来庁者の立場にならないと気
づかないことが多く、手続きを
分かりやすくする工夫が必要。

何度も名前や住所、口座番
号を書く必要があり、大変。

聞きなれない単語、説明が
多く、理解して申請をおこな
うことが難しいと感じた。

利用者の視点に立った市役所を目指す

今回の調査によって、改善すべき点を明確にすることができました。

利用者目線での
改善に向けて

分かりやすい
窓口へ工夫

同じような
手続きを統一

手書きを
減らして楽に

市役所以外でも
手続きできる

このような取り組みを進め、「書かない」「待たない」「行かない」窓口の実現に向け、検討を進めていきます。

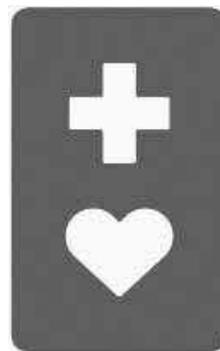
事業者の皆さんへ 障がい者差別解消法が変わります

障がいのある人への「合理的配慮」を おこないましょう

～令和6年4月1日から事業者にも合理的配慮の提供が義務化されます～

企業や店舗などの事業者や行政機関は、障がいのある人の生活を制限している社会の中のバリア(社会的障壁)を取り除くため、障がいのある人から、何らかの対応を必要とする意思が伝えられたときには、過度な負担とならない範囲で、対応することが求められます。これを「合理的配慮の提供」といいます。

【ヘルプマークの紹介】



援助や配慮を必要としていることを知らせるもので、市役所地域福祉課で配布しています。マークを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

<合理的配慮の具体例>

- ・店舗の出入り口などの段差のある場所にスロープを設置する
- ・車椅子のまま利用できるスペースを確保する
- ・視覚障がいのある人にメニュー内容を伝える
- ・聴覚障がいのある人に筆談する

☎地域福祉課 (☎0854 - 83 - 8143)



2月16日に開催された大田市青年協議会の皆さんとの「ふれあいトーク」の一場面

募集

ともに語り合いました 「市長と語る会」実施団体

市は、市民の皆さんと一緒に明るく元気な「おおだ」を創りあげる「共創」のまちづくりを進めるため、地域へ出向き、市民の皆さんと対話する「市長と語る会」を実施しています。市民の皆さんと対話する中で、地域課題などの情報を共有し、信頼関係を深めていくことが重要だと考えています。

より多くの皆さんと意見交換ができるようグループ・団体での開催も可能です。

ともに語り合い、元気で魅力ある「おおだ」をつくっていきましょう。

【ふれあいトーク】

▽対象 グループ単位(5～15人程度)市内で活動するグループ・各種団体など
▽会場 グループ・団体の活動拠点など
▽申込 電話で予約

※ 詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

☎政策企画課

(☎0854・83・8006)

おおだし す がいこくじん
大田市に住む外国人に | interview/

ようこそ Odaへ!

おおだし す がいこくじん みな おおだ
大田市に住む外国人の皆さんに、大田での暮らしについてインタビューするコーナーです



こんかい かわいちょう なかやまのうじょう
今回は、川合町の『中山農場』
で働いている4人のベトナム出身の女性たちにインタビューしました!



ひだり とうていかいんふん まていだん なかやまのうじょう すみだ
左から、トゥティカインファンさん、マティダンさん、中山農場の住田さん、クエンティヒエンさん、レティハニニさん

なかやまのうじょう だい き がいこくじん ぎ のうじしゅうせい さくにゅう
中山農場の第7期外国人技能実習生として、搾乳(牛の乳をしぼる)の仕事をしている4人のベトナム女性
女性の皆さん。大田に住み始めて、1年経たない人、2年経つ人など、大田での生活は長くはありませんが、とても上手に日本語を話し、日本の文字(ひらがな、カタカナ、漢字)も書くことができるほど、ベトナムに

いるときから日本の勉強をされていたそうです。
外国人技能実習生の受け入れを長年されている『中山農場』の住田さんは、4人の女性たちについて「朝4時前に起きて、約250頭の牛の乳をしぼる仕事をしてもらっている。とても真面目で優しい子たち」と話し、また、4人の女性たちは「優しい日本のお母さん」と住田さんのことをとても慕っていました。

4人の女性たちは大田での生活を「静かです。そして優しい人がたくさんいます」と話しました。

仕事がお休みの日には、スーパーに行き、肉や魚、果物などの買い物や、ベトナムの家族とテレビ電話での会話を楽しんでいるとのこと。

また、場内で野菜を育てていて、その野菜でベトナム料理を作り、住田さんが作った日本料理と交換するなど、お互いの国の料理をごちそうし合うこともあるということでした。

女性の一人は、市内のイベントで茶道を体験し「お抹茶は苦かったけど美味しかった」と話し、日本文化を楽しんだ様子でした。「春にはお花見に行こうね」と住田さんが優しく話しかけていました。

※ 読みやすいように漢字とカタカナにふりがなをつけています

せいさくきかくか
園政策企画課 (☎0854-83-8006)

高齢者活躍企業コンテスト最優秀受賞記念 大田地域人材活用セミナーが 開催されました

令和5年度高齢者活躍企業コンテストで、有限会社小川商店が最優秀賞を受賞し、厚生労働大臣表彰を受けたことを記念して、大田地域人材確保促進協議会が2月9日に「大田地域人材活用セミナー」を開催し、約50人の事業者などが参加しました。

小川知興代表取締役は「多様な業務展開で高齢者が活躍」と題して、自社で実践する社員ファースト主義による社業リノベーションの取り組みなどを交えながら、高齢者雇用の重要性や高齢者が活躍できる職場づくりについて講演しました。

また、市内企業の人材不足解消に向け、多様な人材の確保・活用の事例として、外国人材や副業人材についての講演も併せておこなわれました。



講演をする小川代表取締役



多くの事業者の参加がありました

園産業企画課 (☎0854-83-8077)

若林酒造有限会社 「つなぐ棚田遺産」で特別感謝状

☎農林水産課 (☎0854 - 83 - 8083)

農林水産省が主催し、棚田地域の維持・発展に貢献する企業・大学等に感謝状を贈呈する「つなぐ棚田遺産」。

その「未来へつなぐ部門」で、特に優れた取り組みを実施している企業などに贈られる特別感謝状を受けたことを、若林酒造有限会社の若林邦宏代表取締役が1月29日に市長に報告しました。

平成18年からおこなわれている若林酒造有限会社を中心とする「酒仙蔵人 五郎之会」と「西田ヨズクハデ保存会」による農業体験交流を通じた活性化の取り組みが集落の維持につながっていることが評価され、このたびの受賞となりました。若林代表取締役は「棚田に人を集めて、田植えや稲刈りを地域の協力を受けて取り組んだことが保全に繋がった。受賞はありがたい」と話しました。



左から若林代表取締役、市長、「五郎之会」の大迫事務局長

寄 附



ありがとうございます

大田市地球温暖化対策地域協議会に対して、
有料レジ袋収益金をご寄附いただきました。

- ・イオンリテール株式会社
中四国カンパニー山陰事業部
イオン大田店
- ・株式会社ウシオ
グッディー大田店
- ・J Aしまね石見銀山地区本部
J Aグリーンおおだ
- ・有限会社 小川商店

(順不同・敬称略)

☎大田市地球温暖化対策地域協議会
事務局/環境政策課
(☎0854 - 83 - 8071)

作文コンクール受賞者決定

「ふるさと そして 未来」作文コンクール2023の表彰式を1月22日に実施しました。これは、難波利三ふるさと文芸賞に代わるものとして、市内小中学生を対象に実施したもので、小学生の部3人、中学生の部3人が、楯野市長、船木副市長から表彰状を受け取りました。

また、最も優秀だった難波利三賞の受賞者2人が作品を朗読し、その成果を発表しました。

【小学生の部】

- 難波利三賞 「僕のじまんの三瓶山」
坂田 陸さん (川合小5年生)
- 市長賞 「久利の町」
経種 菜々子さん (久屋小3年生)
- 審査員特別賞 「大田市のためにぼくにできること」
坪内 虹輝さん (温泉津小5年生)

【中学生の部】

- 難波利三賞 「僕の宝物 大森」
松場 公汰さん (第三中1年生)
- 市長賞 「私の感じる大田の風景」
森岡 沙菜さん (大田西中2年生)
- 審査員特別賞 「私の成長 大田の未来」
稗田 夏希さん (第二中1年生)



作文コンクールで表彰された皆さん



作品を朗読する坂田さん(左) と松場さん(右)

☎石見銀山課 (☎0854 - 83 - 8131)



まちの話題を紹介 おおだ ウォッチング

大田の未来を創る「おおだ教育フェスタ」開催



食をテーマとした講演会が開催されました

2月18日、「おおだ教育フェスタ」があすてらすで開催されました。
今年度創設された、大田市教育委員会感謝状贈呈式では、市内の小・中学校をはじめ、教育分野において貢献されたかたや団体・事業者の方々へ教育長から感謝状を贈呈しました。
次に、大田市の教育にかかる取り組み紹介や、大田高校、瀬摩高校の生徒による取り組み発表のほか、講師に学習院女子大学教授の品川明さんを迎え、食をテーマにした講演会を開催。また、展示コーナーでは、パネル展示、やさしいおやつなどの無料配布など、盛りだくさんの内容で、多くの来場者に大田市の教育の取り組みについて知ってもらおう機会となりました。
来場者からは「高校生の素晴らしい発表で、大田の未来をパッと明るくした」「講演会を聞いて、ただの栄養学ではなく、五感と心を磨く食育として新たな視点をいただいた」などの感想がありました。



やさしいおやつが無料配布されました



高校生の発表

「上野屋蒲鉾店」から新たなお土産品が誕生 「大あなごチップス」いかが

第35回全日本中学ソフトテニス大会 第一中学生が県選抜チーム選手に



商品を紹介する土江工場長(左)

上野屋蒲鉾店が「大田の大あなご」を使った「大あなごチップス」を新たに販売することを2月26日に市長に報告しました。
この商品は魚肉すり身に大あなごの身を配合し、サクサクとした軽い食感が特徴。主原料が魚のすり身であるためタンパク質の含有量が非常に高く、手軽にタンパク質をとることが出来ます。
土江元生工場長は「口どけとともに魚の風味と醤油・出汁の香りが鼻から抜ける今までにないチップス。ぜひ食べてほしい」と話しました。



知野見奏翔さん(左)

3月26日から28日まで三重県伊勢市で開催される「第35回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会」に、島根県選抜チームの一員として、第一中学校2年生の知野見奏翔さんが出場することになり、2月26日、市長に報告しました。
知野見さんは「県の代表として、悔いのないように頑張りたい」と意気込みを語りました。
また、市長は「持っている力を十分に発揮して頑張ってください」と話し、激励金を渡しました。

こんにちは
保健師です

育児教室を実施しています

子ども家庭支援課（☎0854 - 83 - 8152）

大田市では令和3年度から子どもとのふれあいを通して、子どもの成長を学び、悩みや不安をみんなで共有できる育児教室を実施しています。

～前期の様子～ 内容：ベビーマッサージ、絵本読み聞かせ、ふれあい遊び、発達・発育について、事故予防



読み聞かせ



ベビーマッサージ

～後期の様子～ 内容：親学講座、ふれあい遊び、発達・発育について、事故予防



親学講座



ふれあい遊び

令和3年度から令和5年度までたくさんの赤ちゃんや保護者に参加してもらいました。

参加者からは「ふれあって過ごせる時間を持って楽しかった」「子育てを振り返るきっかけになった。今しか見られない子どもの成長を楽しみながら見守っていきたい」との感想がありました。

地域や保護者同士の関わりが少なくなるなか、保護者同士や地域スタッフなどと交流しながら、子育てについて学べる場はとても重要だと考えています。大田市ではさらに、安心して楽しく子育てができるよう、令和6年度の育児教室の内容と名称をリニューアルし、妊娠期から切れ目のない支援を実施していきます。



ぴよぴよ教室

詳しい日程については「令和6年度健康づくり予定表」「子育てアプリ おおだっこ（母子モ）」をご覧ください。

【前期】

対象：妊婦とその家族

～内容～

産後の体とところの変化
産まれてからの生活
赤ちゃんのお世話の仕方 ……など

【後期】

対象：産後2か月以降の赤ちゃんと保護者

～内容～

赤ちゃんの成長と発達
お世話の仕方、ベビーマッサージ
楽になる育児のヒント ……など

4月の子育て応援コーナー

※ 予約制です。子ども家庭支援課（☎0854 - 83 - 8152）へお申し込みください。

種類	日時	場所	内容	お持ちいただくもの
乳幼児相談	10日(水) 9:00～10:30	大田市役所 4階和室	身体計測・育児相談 栄養相談・授乳相談	母子健康手帳 バスタオル、おむつ
授乳サロン ごくごく	24日(水) 13:00～16:15	母子健康包括支援 センター「おおだっこ」 (大田市役所1階)	身体計測・授乳相談	母子健康手帳 バスタオル、おむつ

健康ガイド 4月

健康増進課

(☎0854 - 83 - 8151)

☆マークの検診では自己負担が軽減

【無料になる人】

生活保護世帯の世帯員、福祉医療受給者、市民税非課税世帯の世帯員

【半額になる人】

大田市国民健康保険加入者、島根県後期高齢者医療制度加入者

※ 必要な書類や手続きについては、健康増進課までお問い合わせください。



がん検診
市ホームページ

がん検診（医療機関）

※ 直接各医療機関へ予約してください。

種類	医療機関		対象者など
☆子宮頸がん 検診	大田市	市立病院（医事室☎0854 - 84 - 7571）	20歳以上の女性 ◎自己負担金 ・子宮頸部検査 1,500円 ・HPV検査（希望者）1,500円
	出雲市	島根県立中央病院ほか7医療機関 （市ホームページでご確認ください）	
☆乳がん マンモグラフィ 検診	大田市	市立病院（医事室☎0854 - 84 - 7571）	40歳以上の女性 ◎自己負担金 2,000円 ・市立病院は2回の受診が必要
	出雲市	ひゃくどみクリニック（☎0853 - 21 - 0130） ヘルスサイエンスセンター島根（☎0853 - 20 - 0649）	

※ 市役所健康増進課（☎0854 - 83 - 8151）へ電話にて予約してください。

種類	医療機関		対象者など
胃がん （胃カメラ） 検診	大田市	市内6医療機関 大田呼吸循環クリニック、合原医院、 昭和医院、福田医院、木島医院、郷原医院	50歳以上の大田市民 ◎自己負担金 3,000円 ・無料になる人：生活保護世帯の世帯員、市民税非課税世帯の世帯員のみ

「献血」にご協力ください 4月10日(水) 9:30~12:30 大田市役所

明日につなげる地域医療

市では地域医療を担う人材を育成するため、地域医療に貢献したい熱意のある高校生を島根大学医学部や石見高等看護学院に推薦しています。この制度を活用して、令和5年4月に島根大学医学部に進学した学生をご紹介します。



島根大学医学部医学科1年生
西村 紘之さん

◇これまでを振り返って

とても短く感じるほど充実した1年でした。最初は新しい環境に不安もありましたが、同じような人が周りにたくさんいたので支え合って乗り越えることができました。野球部に入学し、チームメイトとは部活動だけでなく勉強を教え合ったりと、お互いに良い刺激を与える関係を築けています。高校と比べて大学の勉強はできるかできないかではなく、やるかやらないかが大きく影響するので、切磋琢磨する仲間を作ることができてとても良かったと思います。

◇今後の目標

授業の体験実習で、消化器・総合外科の9時間にもお

よぶ手術に立ち会いました。長時間にわたって集中力をきかず執刀する医師の姿を目の当たりにして、改めてこの職業の過酷さと莫大な知識量が必要であることを実感するとともに、そこを目指す覚悟が芽生えました。

地元の大田市は人口減少と高齢化が進んでおり、1人で多くのことができる医師が求められていると思います。これからより一層勉強に励みながら、今しかできないことを積極的に経験して、そのような医師を目指していきたいです。

健康増進課

(☎0854・83・8057)

中央図書館 ☎0854-84-9200 平日10:00~19:00 土日10:00~18:00
仁摩図書館 ☎0854-88-4646 10:00~18:00
温泉津図書館 ☎0855-65-2177 10:00~17:00

図書館においてよ

おすすめの本

『あっ これ食べよう！70歳
一人暮らしの気楽なごはん』 大庭 英子／著
主婦の友社（温泉津図書館所蔵）



料理家として40年余りを過ごしてきた著者が、普段よく作る一人ごはん。

美味しくする手間は省かず、誰が作っても味が決まるレシピが豊富に掲載。この本から“自分のお気に入りメニュー”を見つけてみませんか。

◇展示テーマ

中央

「風光る」

寂しい別れも、新しい出会いの緊張も、暖かくなった風がほぐしてくれそうですね。春らしい本を集めてみました。

仁摩

「犯罪に気をつけて！」

4月は新しい生活になじむので手いっぱい。そんな心の隙を犯罪者は狙います。安全対策や犯罪が起こる仕組み。心のケアなどの本を集めました。

◇行事と企画展

図書館	行事	日	時
中央	おはなし会	13日(土)・27日(土)	14:00~14:20
	古文書を読む会	20日(土)	14:00~16:00
	ストーリーテリング	20日(土)	14:00~14:20
仁摩	おはなし会	20日(土)	10:15~10:45
	春のよむよむフェスティバル	28日(日)	
	発達障がい啓発展	1日(月)~8日(月)	
	島根篆刻会作品展	3日(水)~28日(日)	
	おすすめこどもの本展	6日(土)~5月8日(水)	

4月の図書館お休みの日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	⑥
⑦	8	9	10	11	12	⑬
⑭	15	16	17	18	19	⑳
㉑	22	23	24	25	26	㉗
㉘	29	30				

■: 3館共通 ○: 温泉津のみ休館

前回に続き川合神社周辺遺跡を紹介いたします。まず縄文土器についてです。広い調査範囲のなかで川合神社の石碑の南側で見つかりました。年代は今からおよそ3000年前のもの。工事によって失われてしまう深さまでしか、調査を実施していないため、その時代の住居などの詳細までは突き止めていません。その反面、縄文時代の遺跡の一部は掘削されることなく現地に残ることになりました。大田市の歴史を知るうえで現地が残ることは大事です。

次に注目されるのは古墳時代初めごろの土器と建物跡です。古代国家が形成される3世紀後半頃の時代。石見東部も、その大きな歴史の中に組み込まれていたことを明かす資料として貴重です。

古墳もみつかりました。時代は5世紀の終り頃。丸い形をした「円墳」で、古墳の周りの溝には完全に近い形の須恵器が供えられていました。遺跡の主体であった時代は飛鳥時代と奈良時代後半です。建物跡が合計30棟以上あり、やや密集して設けられていました。古代の集落としては規模が大きく、なおかつ良好に残存していたことは注目されます。古代の遺物では、丸い形をした硯、円面硯が見られました。以前このコーナーで紹介した八石遺跡に次いで市内では2例目の発見です。硯の存在は、文字を必要とした役割のある場所ということ。やや「公的」な機関がこの場所にあったのかと想像が膨らみます。そのほか、鎌倉時代の武士たちが珍重した青磁の発見とその時代の建物跡もありました。

こうした成果から、この付近一帯は、大きな災害や地形変化もなく連続と利用されていたこと、そして重要な役割を果たした場所であることを示しました。調査結果は、来年度、調査報告書にまとめ刊行する予定です。

なるほど分かった 地域の宝 石見銀山と市内遺産

第12回

川合神社周辺遺跡 その2

岡石見銀山課 ☎0854 - 83 - 8132

きずな

ハンセン病問題の 早期解決へ

10月23日、第四回人権を考える市民のつどい兼おおだふれあい会館第四回人権・同和問題研修会をサンレディー大田ふれあいホールで開催し、97人が参加しました。

今回は、ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会、会長の太田明夫さんに「それって、昔の病気の話？」ハンセン病問題は、今の、私たちの話です」と題して講演をしていただきました。

今回は、この講演会についてご紹介します。

私自身のことから

私は、これまで水俣病・同和

問題・ハンセン病問題と関わってきたが、ハンセン病問題については国の政策により加害者にさせられた被害者の一人である。そこが大きく違う。

学校事務員だったときには、各地のハンセン病療養所に泊りがけで行って、入所者とともに酒を飲みながら交流を続けた。しかし、それはただの「交流」に過ぎなかった。

ハンセン病問題

かつて「無らい県運動」で市

民がハンセン病患者を通告・密告し、ハンセン病患者は療

養所に強制隔離された。この隔離政策がそもそも憲法違反であった。

国は「らい予防法」でハンセン病患者の強制隔離政策をしたが、ハンセン病問題は国によって作られた差別である。

ハンセン病患者は、今でもひっそりと暮らしている中で、街で元患者同士が出会っても声をかけないようにする人もあるほど不安は大きい。

ハンセン病訴訟でも509人の原告のうち、実名を挙げられたのは7人だけだった。

ハンセン病家族補償

ハンセン病問題は、ハンセン病患者だけではなく、そ

の家族もひどい差別をされて、国も「人生被害」と認めた。

ハンセン病家族補償の裁判で勝訴し、*家族補償金が令和6年11月まで支給されることになった。

当初の国の請求件数予測は2万4000件だったが、現在の請求件数は8143件となっており、非常に少ない状況である。

家族補償金を申請すると、昔のようにまた差別をされるかもしれないと思い、申請をされない人も多くいると考えられている。

ビデオ視聴

昭和17年生まれの島根県美郷町出身の男性は、10歳で岡山長島愛生園に連れていかれ、その後はさまざまな理由から家族が会いに来られなかった



講師の太田明夫さん

石見銀山遺跡は、人類の平和と人権の尊重をめざすUNESCOの世界遺産に登録されています

ことから、57年間も兄弟姉妹に会えなかった。

しかし、重なる偶然に助けられ故郷に帰ることができ、兄弟やその家族にも会えた。その後は、兄弟姉妹と交流し、家族関係を取り戻しつつある。

当事者はどうしているのか

「当事者の声を聴く」とよく言われるが、ハンセン病問題の当事者の比率は全人口の100%である。つまり、差別される人も差別する人も当事者だからである。

なお、「市民」も当事者だから、私たちは「支援者」とは言わない。

島根県はすごい

ハンセン病問題をともに学びともに闘う全国市民の会で全国47都道府県の知事にハンセン病問題のアンケートを実施したが、島根県だけがハンセン病の研修会を3年間で全職員に実施すると回答があり、島根県の姿勢は注目されている。

ハンセン病問題の解決については、島根県から新しい動きが生まれることを期待している。

市民相談窓口の意義

現在、全国の市町村に市民相談窓口が設置されているのは、大阪府・長野県・熊本県・島根県の一部とあるが、これは大田市のことである。

令和4年9月から大田市役所3階人権推進課内に「ハンセン病問題市民相談窓口」が設置され、今でも入口にコピー用紙1枚を貼っただけで取り組んでいる。全国どこの市町村でも市民相談窓口は設置できるということだ。

市民相談窓口を設置するのに求められるのは、ハンセン病問題の知識より「絶対にこの人の秘密を守る」という姿勢。これが重要だ。

皆さんは、大田市に市民相談窓口が設置してあることを誇っても良いと思う。

*家族補償金

配偶者、親、子などには180万円、兄弟姉妹などには130万円支給される。詳しくは人権推進課相談窓口へ。

きずなへのご意見は…

人権推進課

(☎0854・83・8038)

情報 あらかると

☎…申し込み先
☎…問い合わせ先

お知らせ

固定資産の縦覧 5月31日まで

「縦覧」制度は、納税者の皆さんが所有する資産の評価が適正であるか、確認できるように設けられた制度です。

▽固定資産の縦覧期間

4月1日(月)～5月31日(金)
8時30分～17時15分
(閉庁日を除く)

▽縦覧できる人

納税者、または納税者から委任を受けた人(委任状が必要)

※ 縦覧は無料です。

▽縦覧をお断りする場合

・所有者を特定した縦覧(○)
○さんの土地の価格を知りたい) など

市勢

(令和6年3月1日現在)

○人口	32,079人	(△50)
・男	15,433人	(△25)
・女	16,646人	(△25)
○世帯数	15,380世帯	(△16)
○出生数	14人	
○死亡数	65人	
○面積	435.34km ²	
	() 内は前月比	

台帳閲覧はいつでもOK

ご自身の固定資産税課税台帳の「閲覧」は、随時受け付けています。

▽閲覧できる人

- ① 納税義務者本人、または同一世帯員(委任状は不要)
- ② 納税義務者から委任を受けた人(委任状が必要)
- ③ 借地人、借家人(借地、借家部分についてのみ閲覧可能。借地、借家の事実がわかる貸借契約書などをご持参ください)

※ 縦覧、閲覧とも法人については、代表者がおこなう場合であっても法人の委任状が必要

※ 縦覧、閲覧場所は本庁税務課のほか、各支所市民生活課でも受け付けています。

☎ 0854・83・8024

☎ 0854・83・8024

異動に伴う

健康保険の手続き

【退職pong】

職場を退職した際、健康保険は次の3つから選び、手続きをすることになります。

- ① 現在の職場の健康保険に「引き続き」加入する↓ご自身の職場
- ② 家族の健康保険の「被扶養者」になる↓家族の職場
- ③ 国民健康保険(国保)に加入する↓市役所本庁市民課

または各支所市民生活課

において手続きが必要で
す。それぞれにお問い合わせ
ください。

なお、加入する健康保険ご
とに負担する保険料が異なり
ます。

◇ 国民健康保険料の試算
税務課市民税係 ☎ 085
4・83・8022) にお問
い合わせください。

【市外に進学pong】

国民健康保険に加入してい
る人が、進学のため市外に転
出する場合は、特例により引
き続き大田市の国保に加入す
ることができま

す。在学証明書か学生証の写し

を持参し、市民課または各支
所市民生活課で手続きをして
ください。国保の資格が卒業
予定の日まで継続します。

当初の卒業予定が変更にな
った場合は、必ず申し出て
ください。

☎ 0854・83・8154

☎ 0854・83・8154

軽自動車税(種別割) 減免申請は5月31日まで

身体障がい者手帳などの交
付を受けた人で、一定の要件
を満たす場合は、軽自動車税
(種別割)が減免されます。

▽対象となる軽自動車
・1人につき1台

・所有者は原則、障がい者な
どの本人ですが、本人が所
有する軽自動車がない場合
に限り、生計を一にする人
が所有する軽自動車も対象
とします。

・障がい者などを「常時介護
する人」が運転する場合
は、障がい者などが所有す
る軽自動車を運転する場合
に限りま

す。▽申請に必要なもの
① 身体障がい者手帳、療育手
帳、精神障がい者保健福祉

手帳、戦傷病者手帳のうち
1点

※ 対象となる等級は、お問
い合わせいただくか、市ホ
ムページをご覧ください。

- ② 運転する人の運転免許証
- ③ 減免を受ける車の自動車検査証(車検証)
- ④ 減免申請書
- ⑤ マイナンバーカードまたは通知カード

※ 令和5年度に減免を受け
た人は、3月下旬に申請書
を送付します。郵送で申請
することができません。

▽申請受付期間
4月1日(月)～5月31日(金)

※ 受付期間を過ぎると、減
免は受けられません。

※ 普通自動車は、西部県民
センター県央事務所(あすて
らす内) ☎ 0854・84・95
76)へお問い合わせくださ
い。

☎ 0854・83・8022

☎ 0854・83・8022

☎ 0855・65・3111

☎ 0855・65・3111

☎ 0854・88・2111

☎ 0854・88・2111

福祉タクシー利用券

4月1日から使える利用券を窓口で発行します。

▽対象者

①身体障がい者手帳所持者

(総合等級1〜2級)

②療育手帳所持者(A判定、有効期限内のものに限る)

③精神障がい者保健福祉手帳所持者(等級問わず、有効期限内のものに限る)

▽申請受付 3月25日(月)〜

▽申請に必要なもの

有効期限内の右記手帳

※ 複数の手帳をお持ちの人は、該当する手帳をすべてご持参ください。

▽注意事項

・交付枚数は1年分で1人に

つき24枚(1枚500円分)

・いかなる理由でも再発行は

できません

・運賃の額に応じて乗車1回

につき2枚まで使用可能

・申請の代行はできませんが、

「申請に必要なもの」をすべてご持参ください

・有効期間を過ぎた利用券は

使用できませんので、市の

窓口へ返却してください

☎・☒地域福祉課

☎0854・83・8142

温泉津支所市民生活課

☎0855・65・3111

仁摩支所市民生活課

☎0854・88・2111

後期高齢者医療

人間ドックの廃止

後期高齢者医療の被保険者の人間ドックを令和6年度から廃止します。

今後は、市の実施する「健康診査」と「各種がん検診」

をご利用ください。それぞれ

受診することで、人間ドック

とほぼ同じ検査項目を検査で

きます。

健康診査の受診券は5月下旬に発送を予定しています。

がん検診の詳細については、

「大田市健康づくり予定表」を

ご覧ください。

☎市民課保険年金係

☎0854・83・8154

戸籍証明書などの

請求が便利になりました

戸籍法の一部改正に伴い、

戸籍証明書などの広域交付が

令和6年3月1日から始まり

ました。

従来、本籍地がある人につ

いてのみの交付をおこなって

いた戸籍謄本などに加えて、

他の市区町村の戸籍証明書の

請求が可能となりました。

戸籍証明書などの

広域交付とは

本籍地が遠くにある人でも、

お住まいや勤務先などの

最寄りの市区町村窓口で請求

できます。

ほしい戸籍の本籍地が全国

各地にあっても、1カ所の市

区町村窓口でまとめて請求で

きます。

※ コンピュータ化されてい

ない一部の戸籍・除籍を除き

ます。

※ 一部事項証明書、個人事

項証明書は請求できません。

制度の詳細は、法務省ホー

ムページをご参照ください。

法務省

ホームページ



☎市民課

☎0854・83・8065

森林環境税(国税)がはじまります

森林整備などに必要な地方財源を確保する観点から、令和6年度から国税として森林環境税が創設されました。年額1,000円が個人の市民税・県民税の均等割と併せて課税され、その税収の全額が、国から森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与されます。

なお、震災対策事業のために市民税・県民税の均等割にそれぞれ500円加算されていましたが、令和5年度で終了するため、負担額は変わりません。森林環境税の非課税基準は市民税・県民税の均等割の非課税基準と同じです。

	令和5年度	令和6年度から
市民税均等割	3,500円	3,000円
県民税均等割	2,000円	1,500円
森林環境税(国税)	—	1,000円
合計	5,500円	5,500円

☎税務課 (☎0854 - 83 - 8023)

マイナンバーカード

休日・夜間窓口を開設



マイナンバーカードの交付・申請・更新について、次のとおり休日窓口の開設と平日の窓口延長をおこないます。

事前に市民課への予約が必要です。

休日窓口(日曜日) 8:30~12:00

4月14日

5月12日

平日窓口延長 17:15~19:30

4月1日(月)・2日(火)・3日(水)・22日(月)

5月20日(月)

▽申請・交付場所：市役所本庁 市民課

※ 支所ではおこないません。

※ 現住所が温泉津町と仁摩町の人は、各支所でカードを保管していますので、5日前までにご連絡ください。

▽取扱事務

マイナンバーカードの申請・交付・更新事務のみ

※ 住民票など各種証明書の交付事務はおこないません。

※ 予約状況などにより変更する場合があります。

☎・☒市民課 (☎0854 - 83 - 8067)

催し

あすてらす映画上映会

▽日時 4月13日(土)14時～
▽会場 あすてらすホール
▽作品 「ゆらり」
(2017年/112分)

▽内容 石川県の老舗旅館を舞台に「あの時、伝えられなかった思い」を抱えた人びとが、時を超えて家族の絆を取り戻す姿を描いたファンタジー(出演/岡野真也、内山理名、戸次重幸 ほか)
▽入場料 無料

※ 今後の感染症流行状況により、上映を急遽変更する場合があります。

☎ 岡県立男女共同参画センターあすてらす
(☎0854・84・5557)

大江高山自然観察登山

登山をしながら、大田市指定希少動植物であるイズモコバイモやギフチョウを観察します。

▽日時 4月7日(日)

8時30分～

▽集合場所 県道大田桜江線

の山田バス停前

▽参加費 無料

☎ 大代高山会事務局

(☎0854・85・2204)

シルバー人材センター 会員募集説明会

大田市での「シルバー派遣事業」について説明会を開催します。

「シルバー派遣？」「どんな仕事？」など、皆さんの疑問にお答えします。

▽日時 4月19日(金)

14時～15時30分

▽会場 大田商工会議所

▽参加費 無料

▽対象 60歳以上

▽定員 先着15人

※ 事前申込が必要です。

☎ 岡島根県シルバー人材センター連合会 邑智分室大田連絡所
(☎0854・86・8620)

募集

職業訓練センター

夜のパソコン講習

(パソコン入門)

▽日時 4月5日～5月1日

の間の月・水・金

19時～21時

4月29日(月)は休講

▽会場 島根中央地域職業訓練センター

▽受講料 1万3000円

▽対象 どなたでも

▽定員 15人

▽申込期限 3月29日(金)

☎ 岡島根中央地域職業訓練センター

(☎0854・82・9666)

くにびき学園西部校 受講生

くにびき学園はフィールドワークや現地学習、地域団体との交流の場などを通じ、卒業後に地域の中で楽しくやりがいをもって、いきいきと活動できるような学びを提供します。

▽受講資格 原則県内在住の60歳以上の人で、地域活動に興味のある人。60歳以下の人、シマネスクくにびき学園卒業生も受講可。

▽修学期間 2年間(前期課程1年、後期課程1年)

令和6年9月～令和8年8月

※ 後期課程への編入も可能

です(修学期間1年間)。

▽学習拠点 いわみーる

(浜田市)

▽開校日 毎週金曜日(年間40日程度)

▽授業料など

受講申込金1万円・受講料年額1万8000円・傷害保険料年額2500円程度

※ 受講にかかる諸経費、学生自主活動にかかる諸経費は、個人負担となります。

▽募集要項・願書

大田市社会福祉協議会、各まちづくりセンターやくにびき学園などで配布しています。くにびき学園ホームページよりダウンロードも可能です。

くにびき学園 ホームページ



くにびき学園西部校
(☎0855・24・9336)

ATMに 行って! は さぎ 詐欺

介護保険料の還付金詐欺に注意!

介護保険課の職員が、ATMへ行くよう案内することはありません。不審な場合は、介護保険課へお問い合わせください。

☎ 介護保険課 (☎0854・83・8063)

子ども食堂 4月の予定

子ども 無料
大人 ①3300円②100円④200円

①おおだ子ども食堂 大田ふれあい会館	27日(土)17:00～19:00 ☎090-4897-4308
②みんなの食堂 祖式ジム	20日(土)11:00～13:30 ☎090-1188-9088
③多世代交流食堂みーる堂 ゆきみーる(若者も無料)	20日(土)17:00～19:00 ☎0854-83-7373
④こねくと食堂(要予約) 大田市民センター4階	26日(金)17:00～20:00 ☎0854-82-0091

不良空家の除却費 一部補助します

建物に一定程度の破損があり、周辺に及ぼす危険性が高い空家の除却費用を一部補助します。

▽対象者

空家の所有者または相続人、もしくはその同意を得た土地の所有者

▽対象となる空家

- ・市内にあり、おおむね1年以上の使用実態がない一戸建ての住宅または店舗併用住宅（自己の居住の用に供する部分の床面積が2分の1以上のものに限る。）
- ・登記事項証明書に所有者以外の権利が設定されていない住宅（同意がある場合を除く）

▽補助の条件

- ・事前に調査を申し出て、不良空家の確認（判定）を受けること
- ・不良空家の全部を除却する工事であること

▽補助金額

補助経費の5分の4（上限50万円）

※ 居住に用いられていない蔵や物置などの建物や付属する塀や樹木などの除却に要する費用は対象外です。

▽受付期限

4月1日(月)～6月14日(金)

▽補助件数 6件（予定）

※ 先着順ではなく、審査により緊急度の高い空家から補助します。

☎建築営繕課（☎0854 - 83 - 8174）

出雲縁結び空港から中部国際空港 への直行便就航！静岡線も再開！

3月31日(日)から出雲縁結び空港と愛知県の中部国際空港（愛称：セントレア）を結ぶ直行便が就航します。また、運休していた出雲－静岡線も同日より運航再開となります。

中部国際空港との直行便開設で、既存の名古屋（小牧）線と合わせると中京圏へのアクセスが1日3往復となり、再開する静岡線も合わせ東海地方への移動がますます便利になります。観光やビジネスにぜひご利用ください！

○毎日1往復運航

○上期ダイヤ（3月31日～10月26日）

出雲→中部	中部→出雲
16:30→17:35	13:25→14:30

出雲→静岡	静岡→出雲
15:00→16:10	14:15→15:30

※ 運賃などの詳細は、株式会社フジドリームエアラインズのホームページをご覧ください。

株式会社フジドリーム
エアラインズ
ホームページ



☎21世紀出雲空港整備利用促進協議会（☎0853 - 21 - 6819）

令和6年度 ごみ指定袋掲載広告募集

令和6年度に作成する「大田市ごみ指定袋」の広告を掲載する事業者を募集します。掲載を希望される場合は、申込書と掲載を希望する広告案などを添えて、応募してください。

申込方法など、詳しくはお問い合わせください。

▽募集期間 4月1日(月)～4月19日(金)

▽広告掲載期間 広告掲載ごみ指定袋の完売まで

▽広告掲載位置 ごみ指定袋おもて本体中央

▽広告原稿 広告主が作成

※ 広告内容は「大田市広告掲載要綱」に基づき審査します。

※ 申込多数の場合は抽選とします。

※ 掲載予定枚数は広告募集時点のものです。掲載枚数を変更した場合は、掲載料も枚数に応じて増減します。

☎環境政策課（☎0854 - 83 - 8069）

ごみ指定袋種類	募集枠	広告枠（1枠）	掲載料（1枠）	印刷予定枚数	単価
家庭用燃やせるごみ	大	2枠 縦12 ^{センチ} 横20 ^{センチ}	124,000円	62万枚	0.2円
	中	2枠 縦10 ^{センチ} 横15 ^{センチ}	90,000円	45万枚	

4月不燃ごみの収集日

大田（橋北）	3日 17日
大田（橋南）	5 19
川合・久利	4 18
久手（鳥越含む）	15 30
鳥井・長久（新諸友含む）	12 26
静間・五十猛・大屋	9 23
富山・朝山・波根	10 24
大森・水上・祖式・大代	11 25
三瓶・山口（大田野城含む）	8 22
仁摩地区	9 23
温泉津地区	11 25
▼不燃粗大ごみ	
川合・久利	16日
三瓶・山口（大田野城含む）	2日

ごみの持ち込み

▼燃やせるごみ

大田可燃物中間処理施設（静間町）

▼不燃ごみ

大田市不燃物処分場（仁摩町宅野）

▼プラスチック製容器包装

大田容器包装リサイクルセンター
（静間町／一般家庭のみ）

※ 事業所は持ち込みできません。

▼資源物A・B・Cグループ

大田リサイクルセンター
（大田町野城／休日・一般家庭のみ）

※ 事業所は持ち込みできません。

※ 平日は一般家庭の持ち込みもできません。

【平日】（祝日・休日は除く）

一般家庭 9時～16時

事業所 9時～15時

【休日】 7日・21日

一般家庭 8時30分～11時30分

※ 事業所は休日に持ち込みできません。

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

新型コロナウイルスワクチンの全額公費による接種は、 令和6年3月31日で終了します。

令和6年4月1日以降は、インフルエンザワクチン接種と同様に、秋ごろに接種をおこなう予定です。詳細が決まり次第お知らせします。

○令和6年度以降の新型コロナウイルスワクチン接種証明書の発行

▽接種証明書アプリでの発行（電子交付）

アプリのインストールやアプリでの接種証明書の新規発行は、令和6年3月31日(日)をもちまして、サービスを停止します。

ただし、令和6年3月31日(日)までは、アプリ上の画像保存機能などで保存が可能です。

保存方法は、デジタル庁「接種証明書アプリ 接種証明書の画像保存方法」をご確認ください。

新型コロナウイルスワクチン
接種証明書アプリ



▽紙による接種証明書の発行（窓口申請）

令和6年3月31日(日)までの接種に関する新型コロナウイルスワクチン接種証明書は、令和6年度以降も紙による発行を継続する予定です。

なお、令和6年4月以降の発行方法については、決まり次第、市ホームページにてお知らせします。

健康増進課（☎0854-83-8153）

高齢者肺炎球菌ワクチンのお知らせ

令和6年4月1日から接種助成の対象者が変わります

▽対象者

65歳以上66歳未満

（65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで）

大田市に住民票がある人で、これまでに受診券を利用して接種を受けていない人が対象です。

令和6年4月1日以降に65歳になるかたは、65歳の誕生日の前月に受診券を送付します。

なお、令和5年度の受診券をお持ちの65歳の人で、上記に該当する場合は、4月1日以降も接種を受けることができます。接種券が手元にない場合は受診券の再発行が可能です。

詳しくは健康増進課までお問い合わせください。

健康増進課（☎0854-83-8153）

無料
見積

古物・骨董買取

不用品・処分する前にお電話ください

スリーバックス

ホームページ <https://www.threebucks.net>

携帯 090-8995-1256

☎ (0855-55-0708) 江津市後地町 2486

許可番号 島根県公安委員会 711129000271



令和6年4月1日から相続登記の義務化がスタート

相続登記はお済ですか!?

木村司法書士事務所

司法書士 木村修也

事務所 大田市長久町長久口 268-11 センタービル2F
（国道375号線沿い 明光義塾さん(1F)の上階です）

☎ 0854-86-8255 お気軽にご相談ください。

〈広告〉

〈広告〉

4月の相談

年金相談 (要予約)	
9日(火) 10時～15時	市役所 4階大講堂
22日(月) 10時～15時	市役所 2階第2会議室
出雲年金事務所 お客様相談室 (☎0853-24-0045) 市民課 (保険年金係) (☎0854-83-8154) ※ ご予約は出雲年金事務所お客様相談室まで	
交通事故相談 (要予約)	
2日(火) 9時～15時	市役所 2階第2会議室
島根県交通事故相談所 (松江市) (☎0852-22-5102) 危機管理課 (☎0854-83-8009)	
行政・人権合同相談	
5日(金) 9時～12時	おおだふれあい会館
人権推進課 (☎0854-83-8038)	
人権相談	
12日(金) 13時～16時	温泉津まちづくりセンター
19日(金) 13時～16時	仁万まちづくりセンター
人権推進課 (☎0854-83-8038)	
石見法律相談センター相談会 (要予約)	
19日(金) 10時～16時	おおだふれあい会館
石見法律相談センター (☎0855-22-4514) 相談(40分以内)は原則無料。3回目の継続相談から有料。	
若者就労相談 (要予約)	
12日(金) 10時～12時	ハローワーク石見大田
ハローワーク石見大田 (☎0854-82-8609) サポートステーション出雲 (☎0853-31-6663)	

税・保険料	
期限内に納付をお願いします	
納期限および口座振替日	4月1日
国民健康保険料	9期
後期高齢者医療保険料	9期

市役所本庁の収納管理室で市税・国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の納付や相談を受け付けます。

★夜間納付・相談窓口 (17時15分～20時)
 3月28日(木)、29日(金)
 4月1日(月)、25日(木)、26日(金)、30日(火)

★休日納付・相談窓口 (10時～14時)
 4月21日(日)

閩収納管理室 (☎0854-83-8026)

生活相談		
ふくし よろず 相談	月～金 9時～17時 専用電話 0854-84-7577	暮らしの困りごと、悩みごとに関する総合的なサポート (電話・来所・訪問)
司法書士 相談	9日(火) 10時～12時 要予約・無料	市社会福祉協議会本所
法律相談 (弁護士による パソコン面談)	5日・12日・19日・ 26日(いずれも金) 10時～15時40分 要予約・原則無料。 3回目の継続相談 から有料。	市社会福祉協議会本所
閩・閩市社会福祉協議会本所 (☎0854-82-0091)		
こころの健康相談 (要予約)		
19日(金) 13時30分～15時30分	県央保健所	
閩・閩県央保健所健康増進課 (☎0854-84-9823)		
エイズ・肝炎検査、骨髄バンク登録 (要予約)		
16日(火) 9時30分～11時	県央保健所	
閩・閩県央保健所 医事・難病支援課 (☎0854-84-9825)		
難病相談		
一般相談	月曜日～金曜日 8時30分～16時30分	しまね難病相談支援センター (出雲市) (☎0853-24-8510)
	電話相談のみ 6日(土) 9時～11時30分	
就労相談 (要予約)	10日(水) 13時30分～15時30分	
移動ナースバンク		
24日(水) 13時30分～16時	ハローワーク石見大田	
閩島根県ナースセンター (☎0852-27-8510)		
福祉職場相談会		
24日(水) 13時30分～15時30分	ハローワーク石見大田	
閩島根県福祉人材センター石見分室 (☎0855-24-9340)		
はぴこ交流サロン (無料の結婚相談会)		
12日(金) 19時～20時30分	大田商工会議所	
閩大田はぴこ会事務局 (☎080-2940-7266) 電話受付: 平日10時～18時、第2金曜日10時～21時		

島根県知事登録(島根県30ね第5号) (社)日本しろあり対策協会会員
 建築物防蟻防腐処理業登録 (社)日本ベストコントロール協会会員

総合害虫駆除 スズメバチ・羽アリ・シロアリ・ネズミ・ゴキブリ・ダニ・その他衛生害虫・床下換気扇
業務提携 (イワタニ島根の各支店にご相談下さい)

Iwatani Marucas
イワタニ島根株式会社
 本 社 / 大田市長久町長久口 253-1
 ☎ 0854-83-7500 FAX 0854-83-7507
 大田支店 / 大田市長久町長久口 253-1
 ☎ 0854-82-0117 FAX 0854-82-9116
 仁摩営業所 / 大田市仁摩町仁万 532-1
 ☎ 0854-88-2356 FAX 0854-88-3550

トワカ
株式会社 トワカ
 本社 / 浜田市後野町1779-14
 ☎ 0855-42-1789
 ☎ 0120-42-1789
 浜田 / 益田 / 大田 / 松江

島根県弁護士会所属
 弁護士法人 **山陰リーガルクリニック大田事務所**
 WEBによる遠隔相談を始めました お電話でご予約下さい
 土曜無料法律相談実施中 (月1回)
 交通事故・借金相談初回無料 (常時)

○ ローン債

R9

山陰リーガルクリニック

大田市長久町長久口 307 番地 5
 (駐車場有り)
 TEL0854-83-7780 FAX0854-83-7781
 http://www.sanin-lc.jp

〈広告〉

〈広告〉

祝 山陰道 大田・静間道路 静間・仁摩道路 開通記念イベント

が開催されました

3月9日に山陰道「大田・静間道路」(5.5km)「静間・仁摩道路」(7.9km)の開通に伴い、開通記念イベント(出雲・江津間高規格道路記念事業実行委員会主催・楢野弘和委員長)が2月24日、道の駅いせ仁摩と山陰道本線上で開催されました。



山陰道から望む大田市街地と三瓶山、静間川と日本海の風景

道の駅いせ仁摩では、和太鼓や神楽などのステージイベントや出雲市や江津市など3市3町の特産品を集めたテント村、800食限定で大田の郷土料理うどん豆腐のふるまいなど、多彩な催しがおこなわれ、約2200人が来場しました。

また、山陰道本線上では、サイクリングやマラソンが2コース(ロング19.7km・ショート7.4km)とウォーキング(往復4.6km)がおこなわれ、約1400人の参加者が山陰道から望む美しい風景を楽しみながら新しい道路を踏みしめました。参加者のひとり「新しい道路を走って気持ち良かった」と話しました。

静間まちづくりセンターでは、山陰道開通を祝した寄せ書きコーナーが設けられ「待ちに待った山陰道開通おめでとう！」などと多くの喜びのメッセージが寄せられました。

両道路は「大田中央・三瓶山インターチェンジ」(久手町)と「仁摩・石見銀山インターチェンジ」(仁摩町)を結び、3月9日に開通しました。

山陰道が開通することで、安全面を始め、観光や産業など、さまざまな効果が期待されています。



山陰道を颯爽と走るランナーたち



多くの人でにぎわう「いせ仁摩」

住まいの様々なお悩みの解決は夢工房におまかせください!

リフォーム・リノベーション



有限会社 夢工房

☎0854-86-8640

有限会社 夢工房 大田店
大田市大田町大田イ71-1

HPはQRから!



(広告)

2024年3月21日発行
次号は4月25日発行の予定です
(発行印刷)

NO.239



©2012 大田市 らとちゃん K539
環境に優しい植物油インキを
SIL INK 使用しています



見やすいユニバーサル
デザインフォントを探
用しています

発行・企画・編集 / 大田市役所政策企画課 広報広聴係
〒694-0064 大田市大田町大田イ111番地 ☎0854-83-8006 Fax0854-82-6667
ホームページ <https://www.city.oda.lg.jp/> メール o-ko@city.oda.lg.jp